61 01 10 01 03 005

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月29日（金）

事務事業	家庭・地域・学校連携推進事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6122
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画施策分野別名 大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	根拠法令個別計画等	教育公務員特例法第２１条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４５条				
中項目	200001 共に学び、成長が実感できるまちづくり						
小項目	200002 家庭・地域・学校の連携による教育力の向上						

事業概要	地地域全体で学校教育を支援するため、本事業を推進し、学校と地域との連携体制の構築を図るものである。また、多様な形態の教員支援により、教員が子どもへの対応に充てる時間の確保を図るものである。
目的 ※何のために	学校・家庭・地域が連携した学校教育の充実を図る。
対象 ※誰・何を対象に	深谷市立小・中学校の学校応援団の活動。
手段 ※どのように	学校応援団の教育支援活動にかかる補償（保険）加入。 学校応援団の活動費用（消耗品の購入等）の補助。
成果 ※何を求めるか	各小・中学校の学校応援団による教育支援活動の充実。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　■ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育研究所費	学校応援団推進事業（学校支援地域本部事業）	1,069,785
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 小中学校応援団活動	・
・ 学校運営協議会の設置	・
・ コミュニティスクールの実施	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画					学校運営協議会 コミュニティースクール 学校応援団	学校運営協議会 コミュニティースクール 学校応援団	学校運営協議会 コミュニティースクール 学校応援団	
事業費	予算（現額）		0	0	4,018,000	4,752,000	4,425,000	
	決算額		0	0	3,857,754	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	870,000	715,000	997,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	2,987,754	4,037,000	3,428,000	
人件費	従事職員数（人）		0.00	0.00	0.39	0.51	0.51	
	人件費相当試算 ※１		0	0	3,065,790	4,155,480	4,155,480	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			0	0	6,923,544	8,907,480	8,580,480	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	コーディネーターの配置校数	目標値	校	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	□
			実績値		29.00	29.00	29.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		学校応援団コーディネーターを全小・中学校に配置する							
		配置校数									
■	活動指標２	コーディネーター登録数（県への報告書による）	目標値	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	51.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値は設定しない							
□	成果指標１	学校応援団の活動延べ人数（年間）	目標値	人							■
			実績値		77,721.00	77,484.00	83,061.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値は設定しない　※令和元年度からコーディネーター登録数に変更し活動指標とする							
		報告書による									
■	成果指標２	学校応援団の年間延べ活動回数（１校あたり）	目標値	回	0.00	260.00	270.00	280.00	290.00	300.00	□
			実績値		217.00	223.00	249.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		実績から３００回を目標値とする							
		学校応援団推進事業実施報告書（									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 全小中学校に学校応援団コーディネーターを配置した。配置人数が昨年度より増加したため、活動日数を増やすことができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 １校当たりの年間延べ活動数は、昨年度より増加し目標に近づいた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	課長補佐兼指導主事　大竹　真人

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	家庭・地域・学校連携推進事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6122

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

各小中学校に学校応援コーディネーターが配置され、学校支援活動が行われている。
県の学校応援団推進事業費補助金を主に、傷害保険への加入、消耗品等の購入に充て、各小中学校学校応援団の活動を円滑に行えるようになっている。

評価者	学校教育課長　下条　徹

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

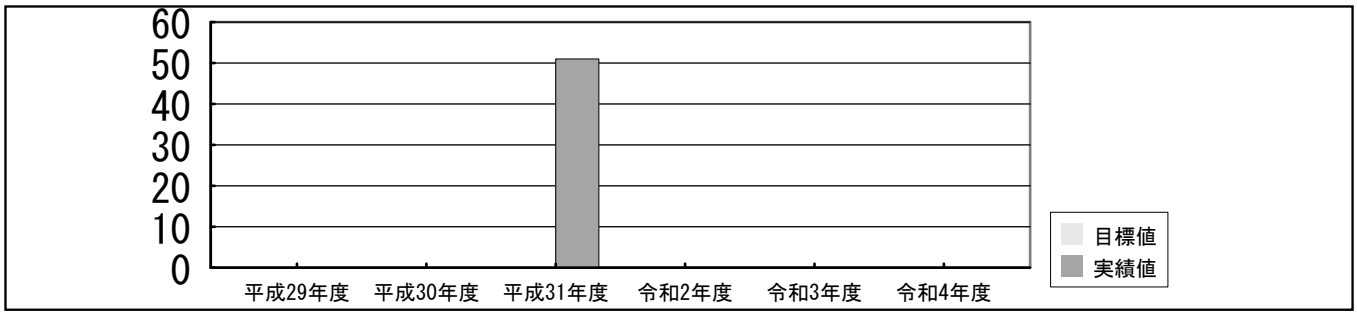
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

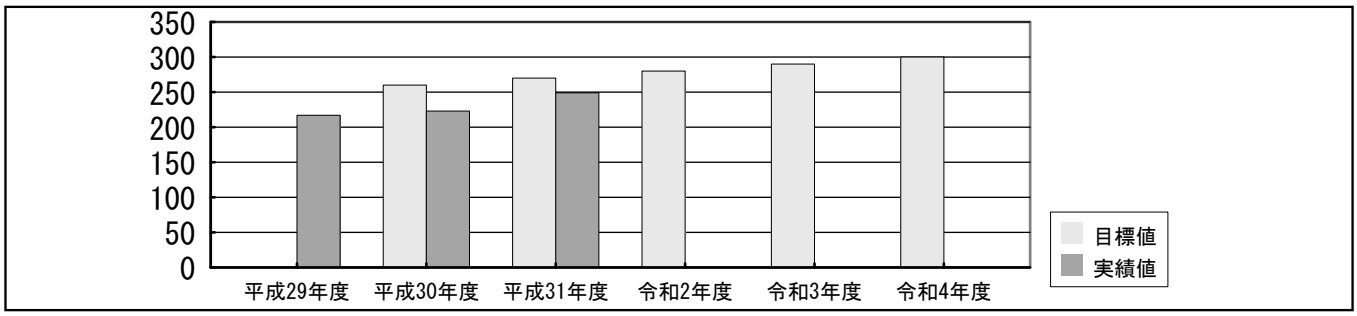
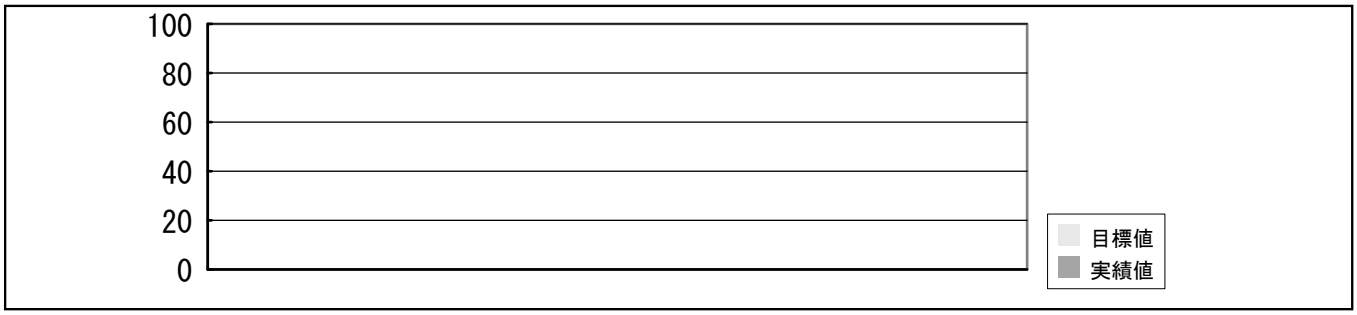
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標２	指標名	コーディネーター登録数（県への報告書による）



区分	成果指標２	指標名	学校応援団の年間延べ活動回数（１校あたり）



区分		指標名